



心温まるお寿司屋さん

赤目口駅の改札を出てすぐの「にしおか寿司」。のれんをくぐると、「いらっしゃいませ〜」と店主の西岡賢一さん、光江さんご夫婦が明るい声で出迎えてくれます。

昭和5年の赤目口駅開業当時から食事処として続けて来られ、45年前に賢一さんとお寿司屋さんを開業。当時は団体客や行事などの大量注文で大忙しで、朝2時から仕込みをしたり徹夜して作ったりと苦労もあったそう。

今は昔からの常連さんがほとんど。ゆったりと自分たちのペースで商いを続けていて、常連さんが3代目になってきたとのこと。筆者もその一人で、実家の電話の前にはメニュー表と出前の電話番号が貼ってありました。

「お店に立つときはどんな時も笑顔。私たちの雰囲気をお客さんは敏感に感じ取られるので、おいしく召し上がってもらうためにも自然と笑顔になる」と二人は口をそろえて話します。

まさに阿吽の呼吸でお店を切り盛りされている様子に、おいしいお寿司以上に満足感を感じることができました。



市民 PR チームが Instagram で綴ったなばりの魅力をご紹介！

投稿を再編集して掲載！フォローしてね ▶



nabari_pr



市内16団体が集結
7年ぶりの大競演

9月27日土
会場 市役所 市民広場

10:00 ~ 隠 BALI BALI NABARI fes (ばりフェス)

10:00 ~ 14:00 オーガニックビレッジなばり (野菜の販売、有機農業者による講演&トークセッション)

10:00 ~ 20:00 キッチンカーなどによる飲食販売

12:00 ~ 17:00 ステージパフォーマンス

12:00 ~ 17:00 こどもの遊び場 (ワークショップなど)

12:00 ~ 17:00 伝統を学ぶ！獅子体験 (獅子舞工作、子グッズ販売、獅子フェスが100倍楽しくなるお話など)

18:00 ~ なばり獅子フェス

市民広場にかがり火を焚き、8団体ずつ一斉に舞を披露する超絶怒涛の催し。7年前に実現できなかった光景がついに… ※前回は雨天のため庁舎内で実施。今回は雨天中止

ばりフェスと
コラボ開催



郷土愛あふれる
実行委員会メンバー

じもと再発見
なばりじまん

市長用

名張高校生の力作で名張の魅力を発信
忍者衣装ができました！



紫の帯ひも

青蓮寺のぶどうをイメージして作られた帯ひも。金の帯と合わせてゴージャスな仕上がり。

水色のライン

羽織の裾にあしらわれた水色の波のラインは、赤目四十八滝の水流を表現。繊細な刺繍に高校生の技術が光る！

高校生の思いを胸に、名張をPR
するでござる！

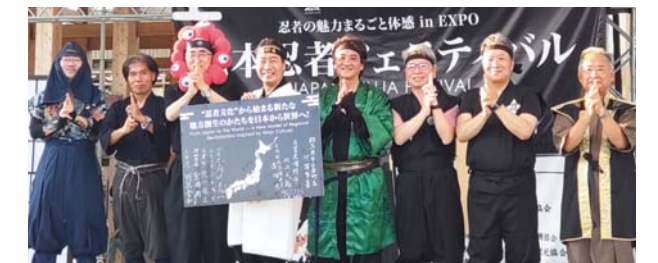


北川市長



緑のサテン生地

羽織の緑色で名張の豊かな自然を表現。キラキラと光るサテンの生地は「ステージでも目立つ」と市長もお気に入り。



日本忍者フェスティバルでお披露目

伊賀流忍者観光推進協議会の一員として大阪・関西万博で行われた「日本忍者フェスティバル」に参加。開幕式には、市長がひときわ目立つ忍者衣装姿で登場！忍者文化の魅力を世界に向けて発信しました。



名張らしさ全開の隠れず目立つ忍者服を

普段は、服を作る技術を学んだり、作った服を自分で着てランウェイを歩くファッションショーを開催したりしています。忍者衣装はデザインから縫製まで約1カ月かけて製作。名張らしさいっぱいの忍者衣装で、名張がもっと有名になればと思います！

3年次生16人で作りました！！



名張高校ファッション専攻
稲井さん、高井さん、西出さん



デザイン
原案

大阪・関西万博に名張市 PR ブースを出展！

関西パビリオン内三重県ブースでは、日替わりで各地域の魅力を発信。8月17日には名張市が出展し、3,000人を超える人に来場いただきました。

コケや石材に実際に触れてオリジナルポトリウムを作るワークショップには大行列が！潤って輝くコケを見て、「これって本物?!」と参加者は驚きの表情。赤目四十八滝は「コケの聖地」と呼ばれていることを知り、「名張に興味津々！絶対行きます」との声も聞かれました。



さらに、市内事業者から寄附いただいたトリックアートフォトブース（不動滝の上に立っているかのような写真が撮れる）と、記念写真用のオオサンショウウオハット、そして、市内福祉事業所の皆さんお手製の折り紙手裏剣（ノベルティグッズ）も大好評！みんなの力で、名張をPRすることができました。

